

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	京都長尾谷高等学校
所在地	京都府伏見区深草佐野屋敷町11-1
電話番号	075-574-7676

<p>(1)</p> <p>建学の精神</p>	<p>向学心に燃える青少年に高等学校普通教育を施すことを目的とする。</p>																																							
<p>(2)</p> <p>本校の特色及び 将来展望</p>	<p>スクーリング日（授業実施日）は、原則、月・水・金曜日に実施されており、生徒一人ひとりが自分自身の目標にあわせて受講科目や時間割を組み立てることができます。 少人数でゆったり学習を進められる講座も設置しています。 「きもの入門」、「茶道」など京都に根差した講座や特別活動も実施しています。 大学等への進学を希望する生徒には、任意で受講できる講座としてアドバンス講座、特進講座を設置しています。</p>																																							
<p>(3)</p> <p>・令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり なし</p> <p>・前回改定</p> <p>年度</p>	<table border="1" data-bbox="770 1074 1871 1492"> <tr> <td rowspan="2">【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>審査料</td> </tr> <tr> <td>70,000</td> <td></td> <td>296,000</td> <td>18,000</td> <td>314,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【2年生】</td> <td>授業料</td> <td></td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>296,000</td> <td></td> <td>18,000</td> <td>314,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【3年生】</td> <td>授業料</td> <td></td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>296,000</td> <td></td> <td>18,000</td> <td>314,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料	70,000		296,000	18,000	314,000	10,000	【2年生】	授業料		施設拡充費等 * (経常的)	計			296,000		18,000	314,000			【3年生】	授業料		施設拡充費等 * (経常的)	計			296,000		18,000	314,000		
【1年生】	入学金		施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料																																	
	70,000		296,000	18,000	314,000	10,000																																		
【2年生】	授業料		施設拡充費等 * (経常的)	計																																				
	296,000		18,000	314,000																																				
【3年生】	授業料		施設拡充費等 * (経常的)	計																																				
	296,000		18,000	314,000																																				
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>生徒の多様なニーズに応え、卒業・進路実現に向けたサポート体制の維持・向上、さらには様々な体験活動を盛り込んだ教育内容の充実のため、必要経費を十分精査したうえで納付金等を決定しています。 少子化という厳しい環境の中ですが、業務の効率化、内部管理経費の削減に一層取り組むとともに、ソフト・ハード両面において、生徒一人ひとりにとってより良い教育環境を提供していくために充てていきます。</p>																																							
<p>(4)</p> <p>教育内容、施設整備の 改善・拡充等の状況</p>	<p>入学する生徒の多様化は年々進んでいます。理由は様々ですが、不登校を経験した生徒や、全日制からの転編入学も少なくありません。多様な生徒のニーズに応えるため、教育課程・内容は日々検討を重ねています。また、ICT教育の推進のため、教職員のスキルアップと併せて、電子黒板の導入や各教室へのテレビモニターの設置、PC教室の整備等にも努めています。</p>																																							
<p>(5)</p> <p>令和7年度の保護者 負担軽減策及び考え方</p>	<p>国の「高等学校等就学支援金」や京都府の「あんしん修学支援制度」を利用し、対象となる保護者への負担軽減に取り組んでいます。 また、学校独自の制度については、親・兄弟姉妹が学校法人東洋学園の系列校の卒業生・在校生の場合、入学金を全額または半額免除する制度を有しています。</p>																																							
<p>(6)</p> <p>今後5年程度の保護者 負担軽減計画</p>	<p>物価高騰等の影響もあり、現時点では納付金削減の見通しは立っておりませんが、今後、一層の経費削減等による財務体質の強化・経営環境の改善を図り、保護者負担軽減に努めていきたい。</p>																																							